

11/10

全市大の学友諸君ノ

それを通りかか70年代帝曰主義的海外進出を企んでいたといふ。それは先田の松江での一曰内閣での佐ト首相の発詞「自正院江が主で安保は補完物」とか「日本はアジアの盟主曰として云々に回り切る如く明らかに政府独立の帝曰主義的海外侵略の宣言といつてある。そのさうす政府獨占の反動性の進化に対し、全般主導力は天皇と上は反撃を開始している。さりわけ大阪の地においては、反日派群衆共斗の下、回々民主勢力が結集し、安保斗争の中バ的斗争である。1月17日の佐ト訪米阻止抗争に向け全曰でも最も戦斗的に斗々あらざりして、我マ佐ト訪米阻止学生共斗は1・21全廻西2000名の隊列を上回る規模の斗争を組もうとしている。労働者においては6単元、単組並に一層府13時間のストライキを確立し、生糸戻での斗争火種にて下克分であつた6年安保斗争の限界を克服し、庄仕的昂揚をもつて1月17日佐ト訪米阻止斗争及び1年半斗争を斗かねつとしている。我々は、あらう労働者階級の政治的・田代めてづく部隊、軍帶し、民主勢力の一翼として、尺としての学生運動の昂揚をほなうねばならない。労働者階級との連帯と共に、我々学生運動の前途はなり。10・21斗争の終結で明るくなる。うして、トロシキスト主義者の街頭暴走、戦術は、大根の支撑、一輪車などと並んでモナリはなりみ、労働者階級の斗争の發展にして大きなマイナスになるのである。又開闢君はおこもるわらず天王寺野外豪華本堂で集会をもつて、この階級と重複するうといつのだろつ々。我々は1月13日又17日の斗争を全因西学生共斗の旗の下、大衆的戦斗的に斗へ抜くだろう。

全市大の学友諸君よ！

沖縄の核子自由使用返還を最初としている佐トの訪米を断固阻止しうる政治的力関係と、労働者階級の庄仕的戦列でもって獲きとこうではない々々

全市大の学友諸君よ！

本日の佐ト訪米阻止斗争に向けて、勇なる深い腹筋紙一毛ではなひみよ